

癌化学療法輸液約束処方 急性骨髄性白血病

癌種 急性骨髄性白血病・骨髄異型性症候群

レジメン名 AML1 CAG

薬品名(商品名)	一般名	略号	標準投与量	投与経路	投与時間	投与日	1クール期間
アクラシノン	アクラルビシン	ACR	14 mg/m ²	div	30分	DAY 1-4	14日間
キロサイド	シタラビン	Ara-C	10 mg/m ² × 2回/日	s.c	ワンショット	DAY 1-14	
グラン	フィルグラスチム	—	75 mg	s.c	ワンショット	DAY 1-14	

【DAY 1-4】Div

- ① NS 50 ml + グラニセトロン3mg / 15分
- ② NS 100 ml + アクラシノン mg / 30分
- ③ NS 50 ml / 全開

【DAY 1-14】s.c

- ① キロサイド mg / 皮下注 朝:12時間毎
- ② キロサイド mg / 皮下注 夕:12時間毎
- ③ グラン 75mg / 皮下注

< 備考 >

- ① 65歳以上はアクラシノンを 10mg/m² に減量する。
- ② 高用量キロサイド(1g/m²以上)で 結膜炎対策必要。1日3回ステロイド点眼。
- ③ 投与初期:シタラビン症候群(発熱、筋肉痛、骨痛、斑状丘疹性皮疹、胸痛など)の発現に注意。
- ④ 投与中期:シタラビン大量投与による中枢神経障害(言語障害、運動失調、傾眠、白質脳症など)注意。